

子供たちに未来の創り手となる
ために必要な資質・能力を育む

指導と評価の 一体化を 目指して



令和 2 年 9 月

東京都教育委員会

はじめに

平成29年3月に新たな学習指導要領が告示され、小学校で令和2年度から、中学校では令和3年度から全面実施されることとなりました。今回の学習指導要領の改訂では、各教科等の目標及び内容が、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という、育成を目指す資質・能力の三つの柱に沿って再整理され、各教科等でどのような資質・能力の育成を目指すのかが明確に示されました。これにより、教師が「児童・生徒にどのような力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る、いわゆる「指導と評価の一体化」が実現されやすくなることが期待されます。

「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」（中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会、平成31年1月21日）では、学習評価は、児童・生徒の学習改善につながるものとする、そして、教師の指導改善につながるものとするという方向性が示されました。評価は、児童・生徒にとっては学習改善に資する情報であると同時に、教師にとっては、自分自身の指導について「何がよかったのか」、「何が課題であったか」を振り返り、次の授業改善につなげていく情報でもあります。そのことを、ぜひ、再確認したいと思います。

また、授業改善を進める際には、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向け、主体的・対話的で深い学びの実現を図ることが重要です。なぜならば、主体的・対話的で深い学びは、必ずしも1単位時間の授業の中で全てが実現されるものではないからです。

東京都教育委員会では、各学校が「指導と評価の一体化」を確実に進める際の参考となるように、平成24年3月に発行した「適正で信頼される評価の推進に向けて」を改訂し、新たに「子供たちに未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む指導と評価の一体化を目指して」を作成しました。本資料は、学習評価の基本的な考え方を記載した「理論編」と、各教科の具体的な事例を記載した「実践編」等で構成しています。

学習評価について検討する際には、本資料と「学習指導要領解説」及び「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所、令和2年3月）を併せて活用することにより、学習指導要領の趣旨に沿った学習評価の在り方について、より理解を深めることができます。

各学校において、本資料を活用し、「指導と評価の一体化」を推進するとともに、主体的・対話的で深い学びを実現し、子供たちに未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育てていただくことを期待しています。

令和2年9月

東京都教育庁指導部長 増田 正弘

目 次

	ページ
I 理論編	
I - 1 学習評価の基本的な考え方について	2
〔1〕 児童・生徒一人一人の力を伸ばす授業を創るために	
〔2〕 指導と評価の一体化を目指して	
〔3〕 学習評価の現状と課題	
〔4〕 評価の観点の整理	
I - 2 学習評価の改善について	4
〔1〕 指導と評価の改善	
〔2〕 新学習指導要領における各教科の学習評価	
〔3〕 新学習指導要領の趣旨を踏まえた評価の観点	
I - 3 評価の観点について	5
〔1〕 観点別学習状況評価の各観点について	
〔2〕 「知識・技能」について	
〔3〕 「思考・判断・表現」について	
〔4〕 「主体的に学習に取り組む態度」について	
I - 4 「妥当性」、「信頼性」のある評価について	7
〔1〕 「妥当性」、「信頼性」のある評価とは	
〔2〕 学校全体としての組織的・計画的な取組について	
〔3〕 保護者や児童・生徒への情報の提供について	
I - 5 「指導と評価の計画」の作成について	8
〔1〕 年間指導計画に基づく「指導と評価の計画」の作成について	
〔2〕 「指導と評価の計画」の点検・確認について	
I - 6 評価規準の作成について	9
〔1〕 評価規準の設定について	
〔2〕 「内容のまとまりごとの評価規準」とは	
〔3〕 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の基本的な手順	
I - 7 評価方法について	10
〔1〕 評価方法の設定について	
〔2〕 評価場面や評価方法等の具体的な事例について	
I - 8 指導の改善に生かす評価と評価結果の記録	11
〔1〕 指導の改善に生かす評価について	
〔2〕 評価結果の記録について	
I - 9 観点別学習状況の評価と評定	12
〔1〕 観点別学習状況の評価とは	
〔2〕 評定とは	
〔3〕 現状と課題を踏まえて	
I - 10 観点別学習状況の評価の評定への総括	13
〔1〕 評価から評定への総括	
〔2〕 観点別学習状況の評価と評定の関係	

Ⅱ 実践編**Ⅱ－1 小学校編**

国語	16
社会	18
算数	20
理科	22
生活	24
音楽	26
図画工作	28
家庭	30
体育	32
外国語	34

Ⅱ－2 中学校編

国語	36
社会	38
数学	40
理科	42
音楽	44
美術	46
保健体育	48
技術・家庭（技術分野）	50
技術・家庭（家庭分野）	52
外国語	54

特別の教科 道徳、外国語活動、 総合的な学習の時間及び特別活動	58
------------------------------------	-------	----

参考資料	61
------	-------	----

